

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 8 月 18 日 (2011.8.18)

【公開番号】特開 2010-11429 (P2010-11429A)

【公開日】平成 22 年 1 月 14 日 (2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2010-002

【出願番号】特願 2008-171744 (P2008-171744)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

H 0 4 N 1/21 (2006.01)

G 0 6 T 3/60 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

G 0 3 G 15/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/387

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

H 0 4 N 1/21

G 0 6 T 3/60

G 0 6 T 3/00 2 0 0

B 4 1 J 5/30 Z

G 0 3 G 15/04

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記憶手段と、

画像データを、前記画像の第 1 の方向にライン単位で入力して前記記憶手段に書き込む入力手段と、

前記入力手段により入力された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出し、補正処理を実行して、当該画像の前記第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段に書き込む補正手段と、

前記補正手段により補正された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出して出力する出力手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記入力手段により入力された画像データの各画素について、前記第 1 の方向の座標と前記第 2 の方向の座標とが相互に変換されるようアドレスを変換する第 1 の変換手段と、

前記補正手段により補正された画像データの各画素について、前記第 1 の方向の座標と前記第 2 の方向の座標とが相互に変換されるようアドレスを変換する第 2 の変換手段とを更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記補正手段は、前記画像の前記第 2 の方向のラインごとに異なる補正情報に基づいて、前記補正処理を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記補正情報は、前記画像の前記第 2 の方向の各ラインの書込開始アドレスであり、
前記補正手段は、前記記憶手段から読み出した画像データを、前記書込開始アドレスから当該画像の前記第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段に書き込むことにより、前記補正処理を実行することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記補正手段は、前記書込開始アドレスまでのアドレスに白画素を示す画像データを書き込むことを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

画像を読み取る読取手段を有し、
前記入力手段は、前記読取手段により読み取られた画像の画像データを入力することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

画像データを外部装置から受信する受信手段を有し、
前記入力手段は、前記受信手段により受信された画像データを入力することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記出力手段により前記記憶手段からライン単位で読み出された画像データに応じた照射光を感光体上に照射する露光手段と、
前記露光手段による照射光の照射により前記感光体上に形成された静電潜像を現像剤で現像する現像手段と、
前記現像手段により現像された現像剤像を用紙上に転写する転写手段とを有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記転写手段により転写された現像剤像を用紙上に定着する定着手段を有することを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記補正処理は、前記露光手段が感光体上に照射する照射光の走査線の歪みを補正するための処理であることを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

前記第 1 の方向は、前記露光手段が照射する照射光の主走査方向に対応し、
前記第 2 の方向は、前記露光手段が照射する照射光の副走査方向に対応することを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

記憶手段を有する画像処理装置の制御方法であって、
画像データを、前記画像の第 1 の方向にライン単位で入力して前記記憶手段に書き込む入力工程と、
前記入力工程により入力された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出し、補正処理を実行して、当該画像の前記第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段に書き込む補正工程と、
前記補正工程により補正された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出して出力する出力工程とを有することを特徴とする制御方法。

【請求項 13】

記憶手段を有する画像処理装置に、
画像データを、前記画像の第 1 の方向にライン単位で入力して前記記憶手段に書き込む入力工程と、
前記入力工程により入力された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出し、補正処理を実行して、当該画像の前

記第 2 の方向にライン単位で前記記憶手段に書き込む補正工程と、

前記補正工程により補正された画像データを、当該画像の前記第 1 の方向にライン単位で前記記憶手段から読み出して出力する出力工程とを実行させるためのプログラム。